

電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.22 -

令和元年7月10日(水)配信



<掲載内容>

頁

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 研修講座の御案内 | 1 |
| 2 メンター研修で学校を活性化しましょう! | 3 |
| 3 特別支援教育センター:研修資料の紹介 | 4 |
| 4 幼児教育センター:夕やけ保育研修会 | 5 |
| 5 子ども教育相談室の紹介 | 6 |
| 6 カリキュラムセンターの紹介 | 7 |
| 7 「第17回 ぐんま教育賞 杉の子賞(教職員の部)」の募集 | 8 |
| 8 総合教育センターへ来所される方へ | 9 |

* 編集後記 *

研修講座の御案内

今後開催される希望研修をご紹介します。当センターの希望研修は開催期日の2週間前まで申込みができます。皆様の参加をお待ちしております。

「いじめ・不登校等問題対策研修講座」【講座コード3411】

いじめや不登校等に対する理解を深め、生徒指導の意義と組織で対応する生徒指導体制の重要性について学びます。また、具体的な未然防止の取組や初期対応のポイントについて学び、生徒指導を進める上で必要な実践的指導力や学級経営力の向上を図ることにより、魅力ある学級・学校づくりにつなげます。

期日	講義・内容等	受付時間等
8/8 (木) 〔期日選択コード〕 080899	講義「いじめの理解と対応」 9:20~10:40 講師 群馬大学教育学部 教授 吉田 浩之 【コマ選択コード 080801】	9:00 ~9:15 702室前
	講義「不登校の理解と対応」 10:55~12:15 講師 自立支援アドバイザー 大野 勝恵 【コマ選択コード 080802】	10:35 ~10:50 702室前

「ぐんま教職員キャリアアップ研修講座」【講座コード3431】

急速に変化する社会に対応した教育の在り方を理解するとともに、学校運営への参画意識や実践的指導力を高め、同僚や地域と協働して教育活動を推進する力を身に付けることを目的として、著名な講師を招いて開講します。

【詳細についてはこちら→】



期日	講義・内容等	受付時間等
12/10 (火) 〔期日選択コード〕 121099	第一日 講義「これからの時代に求められる資質・能力と学校教育の在り方」(13:30~16:40) 講師 國學院大学 教授 田村 学	13:15 ~13:30 704室前
1/16 (木) 〔期日選択コード〕 011699	第二日 講義「学校運営への参画と組織的な取組の推進」(13:30~14:50) 講師 共愛学園前橋国際大学 教授 大森 昭生 【コマ選択コード 011601】	13:15 ~13:30 704室前
	講義「これからの学校・教職員に期待すること」(15:10~16:30) 講師 民間企業 代表取締役社長 (予定) 【コマ選択コード 011602】	14:55 ~15:10 704室前

「ICT活用指導力向上研修講座」【講座コード3361】

児童生徒の情報活用能力を育むための教師の指導力向上をねらいとして開講しています。授業の学習場面や教材作成、また、校務におけるICT活用について、講義や実習を通して学ぶことができる講座です。

期日	講義・内容等	受付時間等
7/31 (水) 〔期日選択コード〕 073199	<p><タブレット端末活用実践コース(小・中・中等前期)> 講義「教育の情報化と児童生徒の情報活用能力の育成」 (9:20~10:40) 実習「タブレット端末の特徴とその活用方法」 (10:55~12:15) 講義・実習「タブレット端末を活用した授業構想」 (13:15~14:35) 演習・協議「タブレット端末を活用した模擬授業及び協議」 (14:50~16:10)</p>	9:00 ~9:15 PC2室
11/27 (水) 〔期日選択コード〕 112799	<p><タブレット端末活用実践コース(高・中等後期)> 講義「教育の情報化とICT機器の効果的な活用」 (9:20~10:40) 実習「タブレット端末の特徴とその活用方法」 (10:55~12:15) 発表・協議「本校におけるタブレット端末や ICT機器を活用した指導」 (13:15~14:35) 演習・協議「タブレット端末やICT機器を 活用した授業構想」 (14:50~16:10)</p>	9:00 ~9:15 PC2室
8/6 (火) 〔期日選択コード〕 080699	<p><校務におけるICT活用コース> 講義・実習「表計算ソフトを利用したマクロの作成」 (13:35~14:55) 講義・実習「表計算ソフトを利用したマクロの編集」 (15:10~16:30)</p>	13:15 ~13:30 PC2室
8/8 (木) 〔期日選択コード〕 080899	<p><動画教材作成コース> 講義・実習「プレゼンテーションソフトを 利用した動画教材の作成」 (13:35~14:55) 講義・実習「iPadを利用した動画教材の作成」 (15:10~16:30)</p>	13:15 ~13:30 PC2室

※詳しくは、Webページをご覧ください。【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=191】

メンター研修で学校を活性化しましょう！

学校における諸課題に対して適切に対応し、質の高い教育活動を展開するためには、先輩や専門的知識をもった方から後輩等へ指導技術や経験を伝えながら、教員一人一人の職能成長を図ることが大切です。そのための効果的な方法が、共に学び合える「メンターチームによる研修（メンター研修）」です。

「メンター研修」ってなあに？

メンター研修とは、様々な立場や経験の教職員がチームを作り、リーダーを中心に協議や実習等を行う中で、互いの資質・能力を高める人材育成システムです。互いに課題を相談・共有・助言し合うことで学び合い、職能成長を図ります。

「メンター研修」には、どんな効果が期待できるの？

メンター研修のよさは、研修に対する参加者の主体性を引き出す点にあります。若手教員も、参加者の一員となり、共に考え発言する中で、成長していきます。併せて、他の参加者やサポートする教職員の職能成長を促進します。さらに、互恵的な関わりが生み出す同僚性やチーム力の向上にもつながります。

「メンター研修」は、どのように進めるの？

1 メンター研修の周知と協力要請

管理職

2 若手教員等の困り感や課題等の把握

リーダー

- ・アンケートの実施
- ・行事等と関連させた内容の設定

3 研修内容の検討

リーダー

- ・開催日時やテーマ、進め方の検討
- ・講師や助言者等の検討

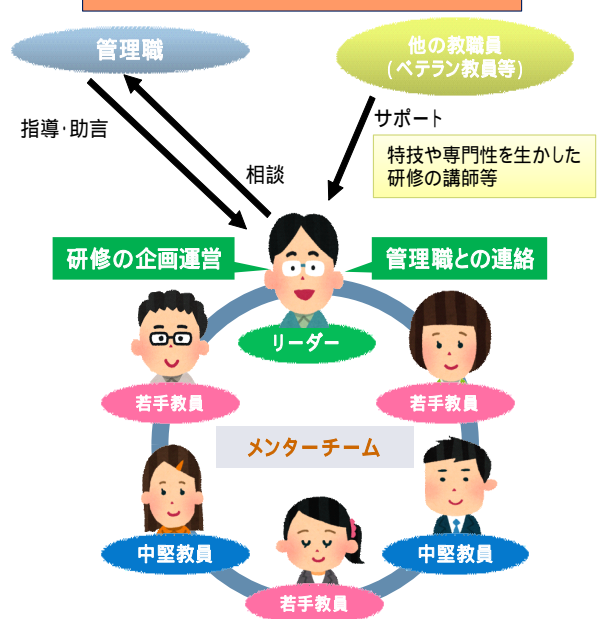
4 管理職と日程・内容を確認 講師や助言者への依頼

リーダー

5 メンター研修当日

リーダー

メンターチーム構成例



チーム構成は、学校の事情等により、様々な組合せが可能です。

<メンター研修のテーマ例>

忘れ物の指導の仕方
通知表の所見の書き方
保護者への対応の仕方
(連絡帳・電話・訪問など)

授業公開に向けての指導案検討
話し合い活動を充実させる工夫
ICT機器の効果的な活用方法
水彩画の指導方法

運動会に臨む心構え
合唱コンクールに向けた
クラスづくり
部活動指導のポイント

特別支援教育センター：研修資料の紹介

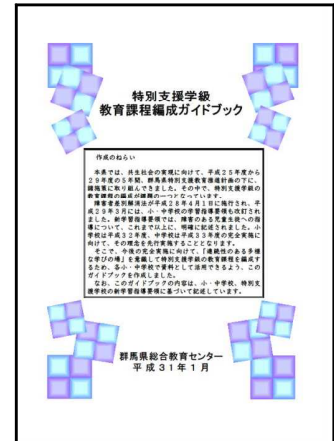
特別支援教育センターでは、特別支援教育の推進に役立つ資料を発行しています。今回は、校内研修等でぜひ活用してほしい資料として、「特別支援学級 教育課程編成ガイドブック」「特別支援教育の視点を生かした保育及び授業づくり」を紹介します。なお、紹介する資料は当センターWebページからダウンロードできるようになっています。【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=249】

1 研修資料「特別支援学級 教育課程編成ガイドブック」

特別支援学級の教育課程編成に関する資料です。

- 「特別の教育課程」について
- 各教科等と自立活動の編成の仕方
- 知的障害ではない特別支援学級の教育課程編成例
- 知的障害特別支援学級の教育課程編成例 等

新学習指導要領の完全実施に向けて、「連続性のある多様な学びの場」を意識して特別支援学級の教育課程を編成するため、各小・中学校で資料として活用していただけるような資料になっています。

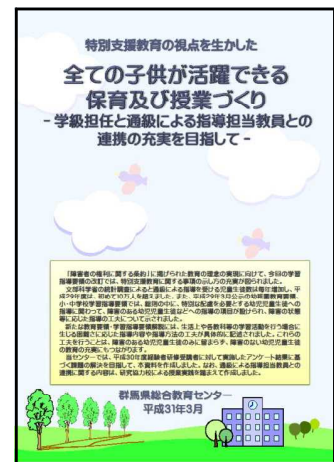


2 研修資料「特別支援教育の視点を生かした 全ての子供が活躍できる保育及び授業づくり -学級担任と通級による指導担当教員との連携の充実を目指して-」

特別支援教育の視点を生かした保育及び授業づくりに関する資料です。

- 群馬県内の現状
- 課題の解決に向けて
- 全ての子供が活躍できる保育及び授業づくりの例
- 通常の学級と通級による指導の連携イメージ

新学習指導要領解説に記述された、生活上や各教科等の学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の具体的な工夫の活用についてまとめてあります。



研修講座の案内

講座コード3381 特別支援教育充実研修講座

8/23 (金)	講義「特別支援学級における学びの連続性を踏まえた教科指導」 県立しろがね特別支援学校 校長 高橋 玲 【コマ選択コード 082301】	9:15 ~12:15 (9:00 受付)
(期日選択コード 082399)	発表「障害者が地域で生き生きと働けるための取組」 障害福祉サービス事業所 アルモニ 所長 田中 武志 発表「特例子会社における共に働きやすい職場環境づくり」 ウエルシアオアシス株式会社 群馬営業所 所長 古川 喜朗 支援教育コーディネーター 高橋 勢津子 【コマ選択コード 082302】	13:15 ~15:45 (13:00 受付)

※ 当センターWebページの追加申込用シートを使って、お申込みください。


幼児教育センター：夕やけ保育研修会

今年度の夕やけ保育研修会は、子育ての支援者研修会と合わせて一本化し、年間12回の研修を企画しました。幼児教育施設、小学校、特別支援学校等の教職員、子育ての支援者の皆様と、幼児教育や家庭教育、幼保こ小の連携・接続をめぐる課題解決のための研修を行い、幼児期の教育の充実を図ります。

特別講演会では、聖心女子大学教授 河邊貴子先生を講師に迎え「遊びを中心とした保育の充実を目指す」をテーマにご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしています。



特別講演会 14:00～16:00 (受付13:30～13:55)

○開催日時	12月26日(木)	
○開催地	総合教育センター	
○演題	「遊びを中心とした保育の充実を目指す」	
○講師	聖心女子大学 教授 河邊 貴子 氏	

今年度の「夕やけ保育研修会」

幼保こ小の連携・接続について 15:15～16:50 (受付15:00～15:15)

7月17日(水)	渋川市北橋公民館	「接続期の教育課程を考える」
7月29日(月)	桐生市(参加者指定)	高崎健康福祉大学教職支援センター
8月6日(火)	甘楽町公民館	前センター長 高梨 珪子 氏
11月13日(水)	沼田市(参加者指定)	※桐生市・沼田市は、別日程です。
8月19日(月)	高崎市市民活動センターソシアス	『幼保こ小の連携・接続』の充実が子どもの未来を支える」 日本大学 准教授 田中 謙 氏
9月2日(月)	館林市郷谷公民館	「写真から読み取る幼児の姿と学び」
10月9日(水)	長野原町 住民総合センター	群馬パース大学福祉専門学校 講師 田子 文子 氏

発達の理解と保育について 15:15～16:50 (受付15:00～15:15)

7月9日(火)	伊勢崎市 総合教育センター	「子育て支援の事例発表と情報交換」 NPO法人時をつむぐ会内「ぴよぴよの会」 代表 横山 由美子 氏
8月2日(金)	吉岡町 文化センター	「気になる幼児の理解と支援～作業療法士の視点から～」 anomira 代表 北爪 浩美 氏
9月6日(金)	太田市 宝泉行政センター	「幼児期の発達の理解と保育」 群馬大学大学院 准教授 大島 みずき 氏
10月31日(木)	富岡市役所	「気になる幼児の理解と支援」 NPO法人リンケージ 理事長 石川 京子 氏

【申込方法】 Webページから、「夕やけ保育研修会申込用紙」をダウンロードして、FAXでお申し込みください。群馬県総合教育センター → 幼児教育 → 夕やけ保育研修会
ご不明な点は電話又はメールで幼児教育センターまでお問い合わせください。

TEL: 0270-26-9203 (直通) E-mail youji@edu-g.gsn.ed.jp

※詳しくは、Webページをご覧ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74 】

子ども教育相談室の紹介

子ども教育相談室では、「子ども教育・子育て相談」として、乳幼児から高校生までの教育や子育てに関する相談に対応しています。今年度も「子ども教育相談カード」を県内の各学校・園に配付しました。是非、ご活用ください。

子ども教育・子育て相談

☎ **0270-26-9200**



月曜日～金曜日 9:00～17:00
第2・4土曜日 9:00～15:00
(祝日・年末年始は除きます)

いじめや不登校 生活習慣や子育て
発達の遅れや就園・就学
学校・園での生活や学業 など

来所相談も行っています
0270-26-9221(予約ダイヤル)

群馬県総合教育センター 子ども教育相談室
〒372-0031 伊勢崎市今泉町1丁目233-2

Webページが見られます

「子ども教育・子育て相談」について

電話相談・来所相談・訪問相談（発達相談のみ）を実施しています。

来所相談は予約制ですので、事前にお電話ください。

（電話相談の通話料は有料です。）

「24時間子供SOSダイヤル」について

いじめに関する緊急の相談や子どものSOS全般に対応するため、24時間、通話料無料で相談を行っています。

保護者の方も相談することができます。

24時間子供SOSダイヤル

☎ **0120-0-78310**

24時間、通話料無料です

一人で悩まないで
いつでも相談してね



☆保護者の方も、相談できます

臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士に相談できます

「子ども教育相談室」では、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談を受け付けています。子供への関わり方等について、一緒に考えたり、それぞれの立場から専門的なアドバイスを受けたりすることができます。

毎月第2・第4土曜日には、言語聴覚士による「ことばの発達土曜相談」を行っています。

また、子育てや子供との関わりについて、同じ悩みをもつ保護者が臨床心理士と一緒に話し合う「あったかスマイル相談会」も月1回実施しています。参加者から「悩んでいるのは自分だけではないと分かった」「前向きに子育てしていこうという気持ちをもてた」等の感想をいただいています。

臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談を希望される方は、電話にてお問い合わせください。

開催日等の詳細については、当センターWebページの「子ども教育相談室」

【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=375】をご覧ください。

カリキュラムセンターの紹介

当センター2階にあるカリキュラムセンターでは、特色ある教育活動の実現や授業の改善・充実などに役立つ教育資料・図書等を収集し、閲覧・貸出を行っています。

教育関係図書の貸出

授業づくりや教材研究に役立つ図書を、約19,000冊所蔵しています。

是非、ご利用ください。

また、今年度は、次の二つのコーナーをつくり、閲覧できるようにしています。

	貸出数	貸出期間
個人	5冊	2週間
団体	100冊	1ヶ月

図書は、1回5冊まで貸出できます。



○新着図書

最新の図書を約60冊配架しました。

新着図書の内容を掲示板で紹介しています。幼稚園、小・中学校、特別支援学校、高等学校等の先生の指導に役立つ図書を取り揃えました。

○テーマ展示

毎月、一つずつコーナーを設置しています。

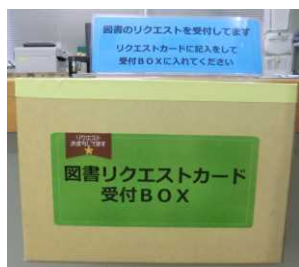
- 4月 新元号「令和」(万葉集)
- 5月 新紙幣「渋沢栄一」(道徳教育)
- 6月 東京2020 オリンピック・パラリンピック
- 7月 世界遺産登録「百舌鳥・古市古墳群」



新着図書の内容紹介

図書のリクエスト

カリキュラムセンターの受付カウンターに、「リクエストカード受付BOX」を設置しました。多数のリクエストをお待ちしております。



受付BOX

資料の展示

昨年度末に、展示資料をリニューアルしました。埋蔵文化財の資料も展示をしています。



研究紀要等の教育関係資料
(書架室)



埋蔵文化財資料
(金井遺跡群)

当センターにお越しの際は、是非、カリキュラムセンターをご利用ください。詳しくは下記のWebページをご覧ください。

【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=68】

「第17回 ぐんま教育賞 杉の子賞（教職員の部）」の募集

本賞は、教職員から群馬県の教育の向上に関する考え方や取組を募集するとともに、寄せられた教育の向上に関する提言やアイデアを共有し、広報活動を行うことで、群馬県の教育力向上を目指すことを目的としています。

○募集内容

- ・教育に関する考えや実践等についての文章・論文
- ・A4判（1枚40字45行）で10枚以内

○賞

- ・最優秀賞 一編（賞状・図書カード2万円分）
- ・優秀賞 若干編（賞状・図書カード1万円分）

○応募期間

令和元年9月2日（月）～10月11日（金）必着

○応募方法

郵送又は電子メール

○その他

ワープロソフト等で作成をお願いします。

※タイトルは、12ポイント MSゴシック体

サブタイトルは、10.5ポイント MSゴシック体

※本文は、

10.5ポイント MS明朝体

項立て、箇条書きなどを取り入れ、読みやすさを重視してください。

図、表、写真などを入れて全体のレイアウトを工夫してください。

肖像権、著作権等に十分配慮してください。



～たくさんのご応募をお待ちしています～

○送付・問合せ先

群馬県総合教育センター内 ぐんま教育賞募集事務局

〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-233-2

TEL 0270-26-9214（直通） Fax 0270-26-9222

URL : http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=183

e-mail : g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp

省エネ・節電に取り組んでいます。

- ◆冷房は、室温28度を目安に天候に応じて弾力的な運転を行っています。
10月までの期間に来所される際は、クールビズでの来所をお願いします。

交通事故防止にご協力をお願いします。

- ◆総合教育センターには、毎日多くの方が車で来所され、駐車場を利用されます。
敷地内は、車だけでなく、歩行者も通行しますので、センター敷地内を車で通行する際は、歩行者に注意していただき、交通事故防止にご協力をお願いいたします。

* 編集後記 *

通算22号となる「電子版センターだより」をお届けします。

夏から秋にかけて、当センターでは、「言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の在り方」「今、求められる英語指導の在り方」「地理総合の円滑な導入について」など、新学習指導要領全面実施に向けた授業改善の方策について、理解を深められるような研修講座の充実を図っております。

また、各学校の教育課題と向き合うために、「高大接続改革について」「子供がインターネットを利用する際の注意事項～みんなで考える情報モラルとコミュニケーション～」「いじめの理解と対応」などの講義や、「学校事務職員スキルアップ研修講座」など、指導力や専門性を高める各研修講座を企画・運営しております。

各研修講座の詳細については、当センターWebページの「研修講座」をご覧ください。
(http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=191)

当センター2階のカリキュラムセンターでは、授業改善等に資する教育関係資料を豊富に取り揃えております。資料は貸し出すこともできますので、是非、ご利用ください。(文:N・M)